

陳情書

令和3年9月30日

横浜市長 山中竹春様

認定 NPO 法人ホテルのふるさと瀬上沢基金
横浜市港南区港南台 9-30-31
理事長 角田東一

熱海土石流二の舞の恐れ！上郷開発

陳情項目：

熱海伊豆山土石流は、2021年7月3日に発生し、死者26名倒壊家屋187戸という大きな被害となりました。上郷開発計画は、熱海市以上の危険な埋立て計画であり熱海伊豆山土石流を上回る被害が想定されますので、凍結又は中止を求め陳情します。

- 1 上郷開発計画地は、およそ30年前廃棄物投棄場として利用されており、推定3万㎡の違法産業廃棄物が埋まっています。東急建設は、違法産業廃棄物が埋まっている場所を元々の地盤面とした環境影響評価書を提出した為正しい偏土圧が環境影響評価審査会に反映されず、専門家の評価対象外となりました。熱海伊豆山土石流も、違法廃棄物が埋められていたことが原因の一つとなっています。上郷開発計画は、熱海伊豆山土石流発生現場の約6倍の埋立て量であり災害も大きくなる恐れがあり、**違法産業廃棄物混入の埋立て安全性が確認されていない埋立ての凍結又は中止を求めます。**
- 2 上郷開発計画は、深田谷戸と猿田谷戸を30万㎡の土砂で埋め立てる計画で、谷戸の入り口は高さ15mの舞岡上郷線道路盛土で支えることとなります。舞岡上郷線は、盛土部に掛かる30万㎡の偏土圧により、**地震による倒壊の恐れがあります。**東急建設は、舞岡上郷線の谷戸入り口高さ15mの盛土部に掛かる偏土圧の正しい資料を提出しておらず、舞岡上郷線盛り土の安全性が確認されていない上郷開発の凍結又は中止を求めます。
- 3 上郷開発計画は、毎時6トン以上の湧水がある深田谷戸と猿田谷戸を埋め立てる計画ですが、**地下水益化で地震による液状化で舞岡上郷線の盛り土決壊や住宅商業施設の倒壊など、重大な災害の恐れがあり安全性が確認されていない埋立ての凍結又は中止を求めます。**

陳情の趣旨：

横浜市の従来回答は、上郷開発計画は環境影響評価審査会にて専門家の答申を得ているから安全としていますが、東急建設の不正資料に基づく答申の為正しい審査は行われておらず埋立ての安全性は担保されていません。

図 1 は上郷開発計画図で、東急建設が設定した埋立て断面 A、B が示されていますが、舞岡上郷線盛り土部分に掛かっていません。C、D 断面でないとも舞岡上郷線に掛かる偏土圧の評価はできません。

図 2 は埋立て断面図で、東急建設は赤の塗りつぶし部分が盛土としていますが、実際は赤斜線部分に 30 年前産業廃棄物が埋められており危険です。

図 3 は昭和 30 年頃までの地形図で、猿田谷戸と深田谷戸の入り口がはっきりと示されており、現在の舞岡上郷線は両側の山と高さ 15m の盛り土で接続されています。

図 4 は昭和 40 年ごろの地形図で、舞岡上郷線盛土位置(赤)・不法投棄地(茶)・湧水域(青)・湿地帯(無色)を示していますが、これらについて十分な安全性評価をせず 30 万 m^3 の土砂を埋立てる上郷開発は極めて危険です。

上郷開発計画と熱海市伊豆山災害地の比較

	横浜市 上郷開発計画	熱海市 伊豆山土石流
決壊道路	舞岡上郷線	太陽光発電連絡道路
盛土量	30 万 m^3	5 万 m^3
産業廃棄物	違法産廃埋立て約 3 万 m^3	盛土に違法産廃含む
斜面高/平面長	30m/300m	30m/200m
土石流の要因	雨水浸透+大量の湧水	雨水浸透
被害状況	工事未承認	死者 26 不明 1 倒壊 131

瀬上沢の大量の湧水は、165 万年前の穂高噴火火山灰層からと推定され埋め立てた場合地下水盆となり、地震による液状化で舞岡上郷線が崩壊する恐れがあります。上郷開発事業で、崩壊の恐れがある舞岡上郷線道路の偏土圧について、環境アセスメントでは正しい評価がされていません。横浜市が行った偏土圧アセスは、東急建設が断面図を故意に山側にずらした、不正な位置のものでした。

不正位置については、東急建設のアセス資料図 1 と地形図 3 を重ね合わせれ

ば明らかです。

横浜市環境創造局は、不正位置の指摘を受けても「事業者から提出された資料を検討するのが市の責務だ、市民から不正位置を指摘されても調べる責務はない」として、不正位置でアセスを通しました。従って、舞岡上郷線の正しい位置での、偏土圧アセスは行われていません。

横浜市の、舞岡上郷線偏土圧安全性はアセスで承認されているから問題ないという、従来回答は無責任であり受け入れられません。

横浜市は、現在行われている東急建設の埋立て工事申請に係る事前協議に於いて正しい偏土圧安全性アセスを実施し、安全性確認が得られない場合は上郷開発を凍結又は中止してください。

ホタルのふるさと瀬上沢基金は、市民と協力して、
長い間守られてきた瀬上沢緑地を取得・借用・保全を通じて地球環境を守り、
子供や孫たちの世代に豊かな自然を残す為に活動しています。

R3.7.25 現在 会員：174名 寄付：15,330名 1,111万円